











4/23(土) (激動)

熊本地震から、ちやと1週間。

私たち、家族5人は、今日 二人来ました。

長男、2才。は 真心 障害者です。

熊本看護学校を、(2年間 通学し、

大変お世話になりました。その時の先生方、

富永先生、西先生をたよりに 二人来ました！

毎日 つづく 余震の恐怖、土砂災害、

洪水、おは怖く、1週間、セメントの生活で

いざ、母、長男、熊本看護学校を 二人！

温かいお茶、おかしく 考案しました。

こんな 寒い時間には とても 暖かい

次男、長男を 迎えての人のおまわりは 熊本の看護学校、

2才、はばたく 障害者、熊本看護学校、

最終卒業生、

村上健太郎、母、長男



地震があったからの日々は、1日1日が
苦痛でした。震度7だった時は
生きている感じがなかった。

今の今まで本当にまっくまっくまっくまっく
けど今こうして温かくココに迎えてくれて
感謝しています。本当にありがとうございました。

(にこ) 温乃

4/23(土)

4/14地震があき普通の生活から
一変、体験でいいこと、たくさん
人たちの支え温かく感じた。
帰る家がある、食べたい時に
食べたいものを食べ、会いたい人に
会える。そんな事に慣れた事。
できないものは、時間の大切さ
日々の幸せがどれほど大切かを
知った。長男がいてくれてとても
感謝しています。ここにきて下さって
本当にありがとうございます。

(にこ) 心咲